

V. 調査票

1 個人調査

(1) 労働者全般調査(個人調査A)

労働に関するアンケート

アンケートにアクセスしていただき、ありがとうございます。

このアンケートは先日お送りした「働き方に関するアンケート」で、
・国内にお住まいの20～59歳
・現在働いている
とお答えの方にご案内しております。

条件をご確認の上、よろしければアンケートにご協力ください。

ご協力いただける場合は「開始」ボタンを押し、回答を開始してください。

開始

F1 あなたの性別をお知らせください。

(回答は1つ)

男性 女性

F2 あなたの年齢をお知らせください。

(回答は半角数字で入力)

才

F3 あなたはお仕事のある日、平均してどの程度時間をそれぞれの事がらに対して使っていますか。
あてはまらない事がらについては「0」を記入してください。

(回答は半角数字で入力)

※分については、小数点でお答えください。

(例) 1時間45分 → 1.45 時間
10分 → 0.1 時間

※「平日(働いている日)の平均的な1日の時間の使い方」をお答えください。

※仕事は、有給の仕事についてお答えください。

- 1) 通勤(片道) 時間
2) 仕事 時間
3) 家事 時間
4) 育児 時間
5) 介護 時間

F4 以下に挙げる働き方に関する制度のうち、あなたご自身にはどの制度が適用されていますか。もっとも近いものを1つお答えください。

(回答は1つ)

- 勤務時間の融通がきく制度 (フレックスタイム制度、裁量労働制・みなし労働時間制など)
 所定の勤務時間が一定でない制度 (シフト制など)
 時間の融通がきかず、所定の勤務時間も毎日一定の制度

あなたの昨年度の休暇取得状況に関し次の2つについておたずねします。

F5 (1)あなたの有給休暇取得状況(付与日数と取得日数)、(2)特別休暇取得日数をお答えください。
 なお、昨年度は今の会社で働いていないなど、休暇付与の対象でなかった場合には、そのようにお答えください。

(回答は半角数字で入力)

※「特別休暇」とは、週休日や法定休暇(年次休暇、産前・産後休暇、育児休業、介護休業、子の看護のための休暇等)以外に付与される休暇で、就業規則等で制度(慣行も含む。)として認めている休暇をいいます。なお、法律の規定よりも労働者を優遇している場合の上積み分についても含みません。

※特別休暇が付与されていない場合には、0をご記入ください。

※時間単位で取得した分は、足し上げて日数に換算し、端数は四捨五入してください。

(1)昨年度の新規付与日数 日

(1)昨年度に取得できた日数 日

(2)昨年度の特別休暇の取得日数 日

昨年度は今の会社で働いていない

F6 あなたは昨年度1年間で自己啓発を行いましたか。また今後行いたいと思いますか。

(回答は1つ)

※自己啓発とは、「(会社からの命令ではなく)あなたご自身が職業を継続する上で仕事に関連する知識や能力を習得するために行うもの」を指します。職業に関係ない趣味、娯楽、スポーツ健康増進等のためのものは含みません。また、職業とは現在お勤めの会社に限らず「働き続ける上で」とお考えください。

	はい	いいえ
昨年度1年間/自己啓発を行った	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
今後/自己啓発を行いたい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

<ここからは、あなたがふだんの生活の中で感じていることについておたずねします。>

Q1 あなたは、以下の項目についてどの程度満足していますか。それぞれ、あなたのお気持ちにあてはまるものをお答えください。

(回答は1つ)

※自己啓発とは、「(会社からの命令ではなく)あなたご自身が職業を継続する上で仕事に関連する知識や能力を習得するために行うもの」を指します。職業に関係ない趣味、娯楽、スポーツ健康増進等のためのものは含みません。また、職業とは現在お勤めの会社に限らず「働き続ける上で」とお考えください。

	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である
労働時間	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
仕事に割く時間と生活に割く時間のバランス	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
生活全般	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自己啓発(※)にかける時間	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q2 それでは、あなた自身の、「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活(地域活動・学習・趣味・付き合い等)」の優先についてどう感じていますか。希望に最も近いもの、実際(現実)に最も近いものについて、それぞれ1つずつお答えください。

(回答は1つ)

	仕事優先	家庭生活優先	地域・個人の生活を優先	仕事と家庭生活をともに優先	仕事と地域・個人の生活をともに優先	家庭生活と個人の生活をともに優先	仕事と家庭生活と地域・個人生活をともに優先	わからない
希望に近いもの	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
現実に近いもの	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

<あなたの職場の雰囲気についておたずねします。>

Q3 あなたの職場は定時で帰りやすい雰囲気だと思いますか。上司の方、同僚の方、あなたご自身について、感じていることをお答えください。

(回答は1つ)

※同僚の方、上司の方については、「おそらくそう思っているだろう」という、あなたご自身の想定をお答えください。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
上司にとって、定時退社しやすい雰囲気があると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
同僚にとって、定時退社しやすい雰囲気があると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分にとって、定時退社しやすい雰囲気があると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q4 あなたは、どのような取組をしたら、残業を減らすことができると考えますか。以下のなかで、**あなたが効果的だと考えるもの**をすべてお答えください。また、**あなたの職場で実際に取り組まれているもの**についてもお答えください。

(回答はいくつでも)

※「効果的だと考えるもの」について、すでに残業を十分に削減できており、効果的な方法がないという場合には、「その他」をお選びいただきその旨ご記入下さい。

	計画的な残業禁止日の設定	入退時間のシステム管理と警告(入退時間と申請の不一致等)	長時間労働をさせた上司への罰則/ペナルティ	部下の長時間労働を減らした上司を評価する仕組み	長時間労働をした従業員本人に対する罰則/ペナルティ	長時間労働者に対する産業医との面談	上司からの声かけ	業務時間外会議の禁止	会議の時間や回数制限(1時間を上限とするなど)	取引先との余裕を持ったコミュニケーション	残業の事前承認制	オフィスの強制消灯	短時間で質の高い仕事をすることを評価する	担当がいなくとも他の人が仕事を代替できる体制づくり	その他 具体的に:	特になし/取り組んでいるものはない
あなたご自身が効果的だと思う取組	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
職場で取り組んでいるもの	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Q5 あなたは、「残業をしている人」に対してどのようなイメージを持っていますか。上司の方、同僚の方、あなたご自身について、それぞれあてはまるものをすべてお答えください。

(回答はいくつでも)
 ※同僚の方、上司の方については、「おそらくそう思っているだろう」という、あなたご自身の想定をお答えください。

	頑張っている人	責任感が強い人	仕事ができる人	評価される人	期待されている人	仕事が遅い人	残業代を稼ぎたい人	仕事以外にやることがない人	その他 具体的に:
上司にとって、「残業している人」のイメージ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>
同僚にとって、「残業している人」のイメージ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>
自分にとって、「残業している人」のイメージ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>

<あなたの職場の雰囲気についておたずねします。>

Q6 あなたの職場は有給休暇を取得しやすい雰囲気だと思いますか。上司の方、同僚の方、あなたご自身について、感じていることをお答えください。

(回答は1つ)
 ※同僚の方、上司の方については、「おそらくそう思っているだろう」という、あなたご自身の想定をお答えください。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
上司にとって、有給休暇を取得しやすい雰囲気があると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
同僚にとって、有給休暇を取得しやすい雰囲気があると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分にとって、有給休暇を取得しやすい雰囲気があると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q7 あなたはもっと有給休暇を取ることができればどのようなことがしたいですか。直近1年間を思い出して、実際に有給休暇を取った理由もあわせてお答えください。

(回答はいくつでも)
 ※昨年度、現在の会社で働いていない等で有給休暇の付与対象でなかった場合には、今後「もっと有給休暇を取れたらしたいこと」のみお答え下さい。

	家事・身の回りの用事の片付け(日用品の買い物・手続き等)	育児	子ども の病気や 怪我の 看護	親や家 族の介 護	語学や 免許な どの資 格取得	自宅 で休養 (何もし ない)	近場 のおで かけ(日 用品以 外の買 い物、 レジャー 等)	遠方 のおで かけ(日 帰り旅 行)	1泊 旅行	2泊 以上の 旅行	その他 具 体的に:	特 に な い ／ お ぼ え て い な い
もっと有給休暇を取れたらしたいこと	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
有給休暇を取った理由	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Q8 あなたは、どのような取組をしたら、有給休暇の取得がしやすくなると思いますか。以下のなかで、**あなたが効果的だと思えるもの**をすべてお答えください。
 また、**あなたの職場で実際に取り組まれているもの**についてもお答えください。

(回答はいくつでも)
 ※「あなたご自身が効果的だと思う取組」について、すでに有給休暇を十分に取得できており、効果的な方法がないという場合には、「その他」をお選びいただきその旨ご記入下さい。

	計画的に 休暇を取 得させる ルールづ り	経営者 による有 給休暇の 取得奨励	上司 による有 給休暇の 取得奨励	上司 が積極的 に有給休 暇を取 得する	上司 以外の メンバー が積極的 に休みを 取得する	部下 の取得 目標達成 度を上司 の評価に 反映	人員 を増や して時間 に余裕を もたせる	休暇 中他の 人に仕事 を代替し てもらえ る仕組み	有給 休暇の 残日数通 知	まと まった 日数での 休暇取得 奨励	時間 単位、半 日単位な ど柔軟な 有給休暇 取得制度	代休分 を残業代 として支 払う(代 休の優先 取得の廃 止)	職場 単位の計 画的な休 暇取得(一 斉や交代)	その他 具 体的に:	特 に な い ／ 取 組 ん で い る も の は な い
あなたご自身が効果的だと思ふ取組	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
職場で取り組んでいるもの	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Q9 あなたは、「有給休暇を取得している人」に対してどのようなイメージを持っていますか。上司の方、同僚の方、あなたご自身について、感じていることをお答えください。

(回答はいくつでも)

※同僚の方、上司の方については、「おそらくそう思っているだろう」という、あなたご自身の想定をお答えください。

	時間管理が上手な人	オン・オフのメリハリがある人	評価される人	仕事が少ない人	仕事に対する貪欲さ・熱意が少ない人	仕事より自分の予定を優先する人	その他 具体的に:
上司にとって、「有給休暇を取得している人」のイメージ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>
同僚にとって、「有給休暇を取得している人」のイメージ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>
自分にとって、「有給休暇を取得している人」のイメージ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>

Q10 あなたはご自身の職業能力を高めようとする場合、具体的にはどのようなことに取り組めますか。(1)今後どのようなことに取り組みたいか、また(2)この1年間にどのようなことに取り組んだと思うか、あてはまるものをすべてお答えください。

(回答はいくつでも)

※以下の選択肢に完全に当てはまらない場合でも、「あなたのお考えに最も近いもの」をお選び下さい。

	チャレンジ度の高い仕事	会社で提供されている就業時間内の研修・プログラム	会社で提供されている就業時間外の研修・プログラム	自分で見つけた取組(本・教材、講習への参加等)	特に何もしていない/特に希望しない
(1)今後取り組みたいと思うもの	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(2)この1年間に取り組んだと思うもの	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

<あなたの職場の雰囲気についておたずねします。>

Q11 あなたの職場は自己啓発に取り組みやすい雰囲気だと思いますか。上司の方、同僚の方、あなたご自身について、感じていることをお答えください。

(回答は1つ)

※同僚の方、上司の方については、「おそらくそう思っているだろう」という、あなたご自身の想定をお答えください。

※自己啓発とは、「(会社からの命令ではなく)あなたご自身が職業を継続する上で仕事に関連する知識や能力を習得するために行うもの」を指します。職業に関係ない趣味、娯楽、スポーツ健康増進等のためのものは含みません。また、職業とは現在お勤めの会社に限らず「働き続ける上で」とお考えください。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
上司にとって、自己啓発に取り組みやすい雰囲気があると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
同僚にとって、自己啓発に取り組みやすい雰囲気があると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自分にとって、自己啓発に取り組みやすい雰囲気があると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q12 あなたは、職場にどのような取組があれば、自己啓発に取り組みやすくなると思いますか。以下のなかで、あなたが効果的だと思うものをお答えください。
また、あなたの職場で実際に取り組まれているものについてもお答えください。

(回答はいくつでも)
※「あなたご自身が取り組むために効果的だと思うもの」について、すでに自己啓発を十分に実施できており、効果的な方法がないという場合には、「その他」をお選びいただきその旨ご記入下さい。

※自己啓発とは、
「(会社からの命令ではなく)あなたご自身が職業を継続する上で仕事に関連する知識や能力を習得するために行うもの」を指します。職業に関係ない趣味、娯楽、スポーツ健康増進等のためのものは含みません。また、職業とは現在お勤めの会社に限らず「働き続ける上で」とお考えください。

	自己啓発の目標設定、実施結果の評価への反映	職業能力評価制度の導入	自身の自己啓発実施状況と上司の評価を連動させる	社内での自主的な勉強会に対する援助(就業時間内で実施して良い等)	会社による研修・プログラムの提供	必要なスキル等についての上司との相談	キャリア・コンサルティングの実施	社外の研修・プログラムの紹介	自己啓発に対する費用支援	仕事を早く終え、自己啓発に取り組める雰囲気づくり	その他 具体的に:	特にない／取組んでいるものはない
あなたご自身が効果的だと思う取組	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
職場で取り組んでいるもの	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Q13 あなたは、「自己啓発を行っている人」に対してどのようなイメージを持っていますか。上司の方、同僚の方、あなたご自身について、それぞれあてはまるものをお答えください。

(回答はいくつでも)
※同僚の方、上司の方については、「おそらくそう思っているだろう」という、あなたご自身の想定をお答えください。

※自己啓発とは、
「(会社からの命令ではなく)あなたご自身が職業を継続する上で仕事に関連する知識や能力を習得するために行うもの」を指します。職業に関係ない趣味、娯楽、スポーツ健康増進等のためのものは含みません。また、職業とは現在お勤めの会社に限らず「働き続ける上で」とお考えください。

	上昇志向が強い人	転職を意欲している人	時間を効率的に使える人	評価される人	自分の都合を優先する人	時間とお金に余裕がある人	仕事が少ない人	その他 具体的に:
上司にとって、「自己啓発を行っている人」のイメージ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
同僚にとって、「自己啓発を行っている人」のイメージ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自分にとって、「自己啓発を行っている人」のイメージ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

<あなたの職場の全般的な雰囲気についておたずねします。>

Q14 あなたご自身の職場の雰囲気について、あなたはどのように感じていますか。近い項目をすべてお答えください。

(回答はいくつでも)

- 一人あたりの仕事の量が多いほうだ
- 締切や納期に追われがちだと思う
- 仕事の手順などは自分で工夫しやすい
- 同僚の業務内容は把握しやすい
- 仕事を進める上で非公式な調整に気を遣いがちだと思う
- 突発的な業務が生じやすいと思う
- 一部の人の仕事が偏りがちと感じる
- 急な仕事に対応できる人が高く評価されがちだと思う
- 残業や休日出勤に応じる人が高く評価されがちだと思う
- 部下の育成に関し、上司は熱意があると思う
- 上司と部下でも意見等は言いやすい
- 効率が良い人に仕事が集まりがちだと思う
- 自分の仕事が終われば周りの人が残っていても退社しやすい
- 同僚間のコミュニケーションは取りやすい
- 同僚同士で仕事のノウハウを教えあう風土がある
- 職場間での意思疎通が弱いと感じる
- 男女を問わず、仕事の割り振りや評価は公平だと感じる
- その他 具体的に：
- イメージは全くない

<最後に社会全体の取り組みについておたずねします。>

Q15 ここまではあなたの職場についてお尋ねしてきましたが、ここでは社会全体についてお尋ねします。今の日本の社会において残業の削減や有休の取得促進の取組が進まない理由があるとすればどういことがあげられると思いますか。あてはまるものをすべてお答えください

(回答はいくつでも)

	手取りが減ると困る人が多いから	上司の評価が気になる人が多いから	仕事が生きがいと感じている人が多いから	職場にいないと低評価されかねないと感じている人が多いから	家ですることがないと感じている人が多いから	もものために休める日をとってみたいから	(早帰る/休む)必要を感じないから	休んでもすることがないから	忙しすぎるから	成果をあげなくてはならないと感じているから	リストラの対象にされると感じているから	少しでも多く働きたいから	プライベートを詮索されたくないから	社会全体として長時間労働の短縮や、休暇取得を促進しようという意識がないから	企業に長時間労働の短縮や、休暇取得を促進しようという意識がないから	その他 具体的に：	わからない
残業削減について	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
有給休暇取得について	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(2) 女性の就業継続に関する調査(個人調査B)

女性の就業状況に関するアンケート

アンケートにアクセスしていただき、ありがとうございます。

このアンケートは先日お送りした「働き方に関するアンケート」で、
・第1子が6歳未満のお子さまと同居されている20歳以上の女性
・第1子の妊娠がわかったときに、働いていた
とお答えの方にご案内しております。

条件をご確認の上、よろしければアンケートにご協力ください。

ご協力いただける場合は「開始」ボタンを押し、回答を開始してください。

開始

F0 あなたの性別をお答えください。

(回答は1つ)

男性 女性

F1 あなたの年齢をお答えください。

(回答は半角数字で入力)

才

F2_1 あなたは、以下の時点でそれぞれ働いていらっしゃいましたか。

(回答は1つ)

	働いていた	産休・育休中 だった	働いていなか った	第1子は1歳 になっていな い
第1子が1歳になったとき	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
現在	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	—

F2_2 あなたの配偶者は、以下の時点でそれぞれ働いていらっしゃいましたか。それぞれの時点で配偶者がいらっしゃらなかった場合には、そのようにお答えください。

(回答は1つ)

	働いていた	育休中だった	働いていなか った	配偶者がいな い
第1子の妊娠がわかったとき	<input type="radio"/>	—	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
第1子が1歳になったとき	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
現在	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

F2 あなたの**これまでと現在の労働日数・時間**についておたずねします。
それぞれの時点であなたが働いていた時間をお答え下さい。

(回答は半角数字で入力)

- (1)あなたの第1子の妊娠がわかったとき 週 日 / 時間
- (2)あなたの第1子が1歳になったとき 週 日 / 時間
- (3)現在 週 日 / 時間

あなたの**これまでと現在の通勤時間**についておたずねします。

F3 あなたは、**お仕事に行かれる日**、どの程度通勤(片道)に時間を使っていましたか。
あてはまらない場合、「0」と記入してください。

※仕事は、有給の仕事についてお答えください。
(回答は半角数字で入力)

- (1)あなたの第1子の妊娠がわかったとき 時間 分
- (2)あなたの第1子が1歳になったとき 時間 分
- (3)現在 時間 分

F4 あなたは**出産前後(第1子の妊娠判明時と第1子が1歳になった時点)**で仕事を変わりましたか。おつとめ先や雇用形態(正社員からパート、パートからアルバイト等)の変化について、あてはまるものをお選びください。

(回答は1つ)

- 出産前後でつとめ先や雇用形態は変わっていない
- 出産前後でつとめ先は変わっていないが、雇用形態は変わった
- 出産前後でつとめ先は変わったが、雇用形態は変わっていない
- 出産前後でつとめ先も雇用形態も変わった

F5 あなたの**第1子出産前後の各時点**で、働いていたおつとめ先の従業員数(本社・支社を含む)をお答えください。
また、現時点も働いていらっしゃる方は現在のおつとめ先についてもお答え下さい。

※産休育休等取得されていた(いる)場合には、所属先のおつとめ先についてお答え下さい。
(回答は1つ)

	1~9人	10~29人	30~99人	100~299人	300~999人	1000~2999人	3000~4999人	5000人以上	官公庁
あなたの第1子の妊娠がわかったときの職場	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
あなたの第1子が1歳になったときの職場	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

F6 あなたの第1子出産前後の各時点で働いていたおつとめ先の業種として、最も近いものをお答えください。

※産休育休等取得されていた(いる)場合には、所属先のおつとめ先についてお答えください。
(回答は1つ)

	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業	卸売業	小売業	金融業、保険業	不動産業、物品賃貸業	学術研究・専門・技術サービス業	宿泊業	飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	教育、学習支援業	医療、福祉	複合サービス業	サービス業(他に分類されないもの)	その他 具体的に:
あなたの第1子の妊娠がわかったときの職場	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
あなたの第1子が1歳になったときの職場	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

<勤務時間に関する制度>についてお伺いします。

F7_1 第1子の妊娠がわかったときに在籍していたおつとめ先で、あなたが利用した制度はありますか。また、実際に第1子の出産・育児のために利用した制度等はありませんか。あてはまるものをお答えください。

(回答は1つ)

	勤務時間の融通がきく制度(フレックスタイム制度、裁量労働制・みなし労働時間など)	所定の勤務時間が一定でない制度(シフト制など)	時間の融通がきかず、所定勤務時間も毎日一定の制度
第1子の妊娠がわかったときのおつとめ先			
利用可能だった制度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
あなたが利用した制度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
あなたの配偶者が利用した制度 (実際に第1子の出産・育児のために配偶者の方が利用した制度)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
第1子が1歳になったときのおつとめ先			
あなたが利用した制度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
現在のおつとめ先			
あなたが利用した制度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

<改正育児・介護休業法関連制度>についてお伺いします。

F7_2 第1子の妊娠がわかったときに在籍していたおつとめ先で、あなたが利用可能だった制度はありますか。また、実際に第1子の出産・育児のために利用した制度等がありますか。あてはまるものをすべてお答えください。

(回答はいくつでも)

	産前・産後休暇	育児休業(育児のために仕事を休める制度)	短時間勤務制度(短時間勤務(1日6時間)ができる制度)	所定外労働の免除(残業が免除される制度)	子の看護休暇(子どもの病気の看護などのために仕事を休める制度)	時間外労働の制限(残業時間に一定の制限を設ける制度)	深夜業の制限(深夜(午後10時～午前5時)の就労を制限する制度)	転勤の配慮(育児期の従業員の転勤に一定の配慮を求める制度)	フレックスタイム制度	始業・終業時間の繰上げ・繰下げ(時差出勤の制度)	保育施設の設定運営等	その他 具体的に:
第1子の妊娠がわかったときのおつとめ先												
利用可能だった制度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
あなたが利用した制度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
あなたの配偶者が利用した制度 (実際に第1子の出産・育児のために配偶者の方が利用した制度)	—	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
第1子が1歳になったときのおつとめ先												
あなたが利用した制度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
現在のおつとめ先												
あなたが利用した制度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

家事時間についておたずねします。

F8_1 第1子が1歳になったとき、あなたとあなたの配偶者は、どの程度家事をしていましたか。平日の平均的な家事時間をそれぞれお答えください。

(回答は1つ)

	まったくしない	15分未満	15～30分未満	30～1時間未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3～4時間未満	4時間以上
あなた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
あなたの配偶者	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

育児時間についておたずねします。

F8_2 第1子が1歳になったとき、あなたとあなたの配偶者は、どの程度育児をしていましたか。平日の平均的な育児時間をそれぞれお答えください。

	まったくしない	15分未満	15～30分未満	30～1時間未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3～4時間未満	4時間以上
あなた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
あなたの配偶者	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q1 あなたはこれまで、また現在それぞれの時点で仕事のやりがいをどのように感じていましたか。あなた自身が感じる仕事のやりがい度を6段階評価でお答えください。

(回答は1つ)

	0点 全くやりがいのない仕事	1点	2点	3点	4点	5点 非常にやりがいのある仕事
第1子の妊娠がわかった時点	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
子どもが1歳の時点	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
現在	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q2 第1子の妊娠がわかったときのあなたのお考えをお答えください。

(回答は1つ)

	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
子どもを産んでも仕事は続けたいと思っていた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
子どもを産んでも女性は仕事を続けるべきだと思っていた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
子育てをしながら仕事を続けることは容易ではないと思っていた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q3 第1子の妊娠がわかってから出産されるまでの間で、あなたは配偶者と以下のことについて話し合いましたか。

(回答は1つ)

	何度も話し合った	一度は話し合った	話し合わなかった・言えなかった	その他 具体的に:
子どもが産まれてからの家事の分担について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> _____
子どもが産まれてからの育児の分担について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> _____
子どもが産まれてからのあなたの就業継続について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> _____

Q4 第1子が産まれてから1歳になるまでの間で、あなたは配偶者と以下のことについて話し合いましたか。

(回答は1つ)

	何度も話し合った	一度は話し合った	話し合わなかった・言えなかった	その他 具体的に:
家事の分担について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="text"/>
育児の分担について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="text"/>
あなたの就業(復職・再就職含む)について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="text"/>

家事の分担や育児の分担、あなたの就業継続についてなど、何らかの話し合いをした方におたずねします。

Q5 あなたは、話し合いの内容や結果について、どのように感じましたか。それぞれお答えください。

(回答は1つ)

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
互いの置かれた状況や希望に関する理解が深まった	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
夫婦の適切な役割分担について、あなたは納得した	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
夫婦の適切な役割分担を考える上で話し合いをしてよかったと思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
あなたの就業のあり方について、あなたは納得した	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
あなたの適切な就業のあり方を考える上で話し合いをしてよかったと思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

第1子が1歳になったときに就労している方におたずねします。

Q6_1 一般的に女性が出産後も働き続けるにあたり、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものをすべてお答えください。また、そのうち、あなた自身が第1子を出産されたときにあてはまっていたものについて、すべてお答えください。

(回答はいくつでも)
※いずれもあてはまらない場合には、「その他」をお選び頂き、その旨ご記入ください。

	認可保育園(所)・認証保育園(所)に子どもを預けがきること	認可外保育園(所)でも子どもを預けがきること	両親(配偶者の両親含む)等親族の育児支援を得られること	配偶者の積極的なサポートがあること	短時間勤務など、職場に育児との両立を支援する制度があること	職場に仕事と家庭の両立に対する理解があること	職場で妊娠や育児に関する嫌がらせなどがないこと	残業が少ない職場であること	休暇が取りやすい職場であること	職場の先輩や上司の女性に育児と仕事を両立している理想のモデルが身近にいること	職場に女性の先輩や管理職など女性が多くなること	任されていた仕事にやりがいを感じられること	会社の戦力として期待されていると感じられること	将来的な目標があること	仕事と家庭の両立に対する地域や社会全体の理解があること	経済的に仕事を続けることが必要であること	通勤時間が短いこと	続けるのが当たり前だと思っていること	その他の
必要だと思うものすべて	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
第一子出産に際し、実際にあてはまったものすべて	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

第1子が1歳になったとき就労していない方におたずねします。

Q6_2 どのような状況であれば仕事を継続していたと思いますか。あてはまるものを全てお答えいただいた上で、最もあてはまるもの1つだけ

※いずれもあてはまらない場合には、「その他」をお選び頂き、その旨ご記入ください。

	認可保育園(所)・認証保育園(所)に子どもを預けることができれば	認可外保育園(所)でも子どもを預けることができれば	両親(配偶者の両親含む)等親族のサポートを得られていれば	配偶者の積極的なサポートを得られていれば	短時間勤務など、職場に育児との両立を支援する制度があれば	職場に仕事と家庭の両立に対する理解があれば	職場で妊娠や育児に関する嫌がらせがなければ	残業が少ない職場だったら	休暇が取りやすい職場だったら	職場の先輩や上司の女性に育児と仕事を両立している理想のモデルが身近にいれば	職場に女性の先輩や管理職など女性が多ければ	やりがいのある仕事を任されていれば	戦力としての会社の期待を感じていれば	将来的な目標があれば	仕事と家庭の両立に対する地域や社会全体の理解があったならば	経済的に仕事を続ける必要があるならば	通勤時間がかかると短かければ	育児と介護の時期が重なっていないならば	続けるのが当たり前だと思っていれば(どのような状況でも続けていなかった)	その他
あてはまるものすべて(回答はいくつでも)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
最もあてはまるもの1つだけ(回答は1つ)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

Q7 あなたは小さい頃(概ね小学生の頃)、仕事や家事、育児に関するご両親の意識についてどのように感じていましたか。以下、「A、B」のうち、あなたの感じ方に近いと思うものをお答えください。

(回答は1つ)

※小さい頃に父親、母親のいずれか、またはご両親が既に亡くなられていた場合は、あなたにとって、父親的存在、母親的存在の方を想定してお答えください。

父親的存在、母親的存在の方もいらっしゃらない場合は、あなたの父親、母親のイメージで近いと思うものをお答えください。

	【A】に近い	どちらかという と【A】に近い	どちらかという と【B】に近い	【B】に近い
母親の意識				
【A】 「結婚・出産しても女性は仕事を続けるべきだ」 【B】 「結婚したら女性は家事・育児に専念すべきだ」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
【A】 「男性も家事・育児に積極的に参加すべきだ」 【B】 「男性は仕事に専念し、家事・育児は妻に任せるべきだ」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
父親の意識				
【A】 「結婚・出産しても女性は仕事を続けるべきだ」 【B】 「結婚したら女性は家事・育児に専念すべきだ」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
【A】 「男性も家事・育児に積極的に参加すべきだ」 【B】 「男性は仕事に専念し、家事・育児は妻に任せるべきだ」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
両親の意識				
【A】 「(子どもだった私は)家庭の手伝いをすべきだ」 【B】 「(子どもだった私が)家庭の手伝いをする必要はない」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q8 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになるとお考えですか。

(回答は1つ)

0 とても 不幸	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10 とても 幸せ
----------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-----------------

Q9 あなたは、現在、以下のことについて、それぞれ満足度はどの程度ですか。

(回答は1つ)

	とても満足している	満足している	どちらとも いえない	満足していない	全く満足していない
「労働時間」に対して	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
「仕事に割く時間と生活に割く時間」のバランスに対して	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
「生活全般」(仕事・家庭・地域・個人生活)について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
「家庭生活」について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q10 現在の時間当たり賃金のもとで、あなたが自由に労働時間を選べるとしたら、あなたは労働時間を現在より増やしますか、減らしますか。

(回答は1つ)

- 増やす
- 変えない
- 減らす
- わからない

Q11 あなた自身の、「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活(地域活動・学習・趣味・付き合い等)の優先」についてどう感じていますか。希望に最も近いもの、実際(現実)に最も近いものについて、それぞれ1つずつお答えください。

(回答は1つ)

	仕事優先	家庭生活優先	地域・個人の生活を優先	仕事と家庭生活をともに優先	仕事と地域・個人の生活をともに優先	家庭生活と個人の生活をともに優先	仕事と家庭生活と地域・個人生活をともに優先	わからない
希望に近いもの	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
現実に近いもの	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(3) 男性の家事・育児参加に関する調査(個人調査C)

男性の育児参加に関するアンケート

アンケートにアクセスしていただき、ありがとうございます。

このアンケートは先日お送りした「働き方に関するアンケート」で、
・配偶者、長子6歳未満のお子さまと同居されている20歳以上の男性
・現在働いている
とお答えの方にご案内しております。

条件をご確認の上、よろしければアンケートにご協力ください。

ご協力いただける場合は「開始」ボタンを押し、回答を開始してください。

開始

F0 あなたの性別をお答えください。

(回答は1つ)

男性 女性

F1 あなたの年齢をお答えください。

(回答は半角数字で入力)

才

F2 あなたは、お仕事に行かれる日、下記それぞれの事から対してどの程度時間を使っていますか。
あてはまらない事からについては「0」を記入してください。

(回答は半角数字で入力)

※分については、小数点でお答え下さい。

(例) 1時間45分 → 1.45 時間

10分 → 0.1 時間

※仕事は、有給の仕事についてお答えください。

1) 通勤(片道) 時間

2) 仕事 時間

3) 家事 時間

4) 育児 時間

5) 介護 時間

F3 あなたの**配偶者**は、お仕事に行かれる日(または平日)、下記それぞれの事がらに対してどの程度時間を使っていますか。
あてはまらない事がらについては「0」を記入してください。

(回答は半角数字で入力)

※分については、小数点でお答え下さい。

(例) 1時間45分 → 1.45 時間

10分 → 0.1 時間

※仕事は、有給の仕事についてお答えください。

※おおよその時間で結構ですでお答えください。

- 1) 通勤(片道) 時間
- 2) 仕事 時間
- 3) 家事 時間
- 4) 育児 時間
- 5) 介護 時間

F4 あなたの家を出る時間と帰宅する時間についておたずねします。あなたがお仕事に行かれる日の平均的な時間をそれぞれお答えください。
自宅でお仕事をされている方は、仕事を始める時間、仕事を終える時間をお答えください。不規則な方は、主なものをお答えください。

(回答は1つ)

	0時 ～1 時	1時 ～2 時	2時 ～3 時	3時 ～4 時	4時 ～5 時	5時 ～6 時	6時 ～7 時	7時 ～8 時	8時 ～9 時	9時 ～1 0時	10 時 ～1 1時	11 時 ～1 2時	12 時 ～1 3時	13 時 ～1 4時	14 時 ～1 5時	15 時 ～1 6時	16 時 ～1 7時	17 時 ～1 8時	18 時 ～1 9時	19 時 ～2 0時	20 時 ～2 1時	21 時 ～2 2時	22 時 ～2 3時	23 時 ～2 4時
家を出る時間	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
帰宅する時間	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

F5 第1子の妊娠がわかったとき、あなたが在籍していたおつとめ先で、あなたが利用可能だった制度はありますか。また、実際に第1子の出産・育児のために利用した制度等がありますか。あてはまるものをすべてお答えください。

(回答はいくつでも)

	産前・産後休業制度	育児休業(育児のために仕事を休める制度)	短時間勤務制度(短時間勤務(1日6時間)ができる制度)	所定外労働の免除(残業が免除される制度)	子の看護休暇(子どもの病気の看護などのために仕事を休める制度)	時間外労働の制限(残業時間に一定の制限を設ける制度)	深夜業の制限(深夜(午後10時～午前5時)の就労を制限する制度)	転勤の配慮(育児期の従業員の転勤に一定の配慮を求める制度)	フレックスタイム制度	始業・終業時間の繰上げ・繰下げ(時差出勤の制度)	保育施設の設置運営等	その他	あてはまるものはない
利用可能だった制度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
あなたが利用した制度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
あなたの配偶者が利用した制度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

第1子が1歳6ヶ月になるまでの間で、「育児休業」を利用しなかった方におたずねします。

Q1 次のようなことがあったら、あなたは育児休業を取得していたと思いますか。
あてはまるものをすべてお答え頂いた上で、最もあてはまるものを1つだけお答えください。

	配偶者からの積極的な働きかけがあれば	自分が利用できる育児休業制度があれば	職場に男性の育児休業取得に対する理解があれば	上司の理解が得られれば	残業が少ない職場であれば	休暇が取りやすい職場であれば	同僚に迷惑がかかるという後ろめたさがなければ	取引先に迷惑がかかるという後ろめたさがなければ	昇進・昇級への悪影響を意識せずに済んでいれば	復職時仕事への適応に不安を感じなければ	職場に育児休業制度を利用してはいる男性がいれば	取得した際の所得保障がもっとあれば	育児休業を男性が取得することに地域や社会全体でもっと理解されていれば	自分が育児をするに、配偶者や親族の理解が得られていれば	その他	どのような状況でも取得しなかったと思う
あてはまるものすべて (回答はいくつでも)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
最もあてはまるもの1つだけ (回答は1つ)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q2 第1子が生まれるまでの間の、あなたのお考えを教えてください。
 第1子の妊娠がわかった時点で既に配偶者が仕事を辞めていた場合は、「該当しない」をお選びください。

(回答は1つ)

	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	該当しない
女性は子どもを産んでも仕事は続けるべきだと思っていた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	—
配偶者には出産後もできれば仕事を続けてもらいたいと思っていた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
配偶者だけでは配偶者が仕事と子育てを両立することは容易ではないと思っていた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
配偶者が仕事と育児を両立するためには、自分の育児の協力が欠かせないと思っていた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
子どもが産まれたら、自分は育児に積極的に参加しようと思っていた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	—

Q3 あなたは、第1子が生まれるまでの間、「育児休業制度」のご自身の利用についてどのようにお考えでしたか。

(回答は1つ)

育児休業制度を利用したいと思っていた	できれば育児休業制度を利用したいと思っていた	どちらともいえない	できれば育児休業制度は利用したくないと思っていた	育児休業制度を利用したくないと思っていた
--------------------	------------------------	-----------	--------------------------	----------------------

Q4 第1子の誕生(妊娠)がわかってから誕生するまでの間で、あなたは配偶者と以下のことについて話し合いましたか。

(回答は1つ)

	何度も話し合った	一度は話し合った	話し合わなかった	その他 具体的に:
子どもが産まれてからの家事の分担について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> _____
子どもが産まれてからの育児の分担について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> _____
子どもが産まれてからの配偶者の就業継続について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> _____

Q5 第1子が産まれてから1歳になるまでの間で、あなたは配偶者と以下のことについて話し合いましたか。

(回答は1つ)

	何度も話し合った	一度は話し合った	話し合わなかった	その他 具体的に:
家事の分担について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> _____
育児の分担について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> _____
配偶者の就業(復職・再就職含む)について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> _____

家事の分担や育児の分担、配偶者の就業継続についてなど、何らかの話し合いをした方におたずねします。

Q6 あなたは、話し合いの内容や結果について、どのように感じましたか。それぞれお答えください。

(回答は1つ)

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
互いの置かれた状況や希望に関する理解が深まった	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
夫婦の適切な役割分担について、あなたは納得した	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
夫婦の適切な役割分担を考える上で話し合いをしてよかったと思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
配偶者の就業のあり方について、あなたは納得した	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
配偶者の適切な就業のあり方を考える上で話し合いをしてよかったと思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q7 男性の育児休業制度利用者について、**あなたの周囲の考え方**は「A、B」の考えのどちらに近いと思いますか。

(回答は1つ)

	【A】に近い	どちらかという と【A】に近い	どちらかという と【B】に近い	【B】に近い
【A】 男性で育児休業を取得する人は、 「できる社員」だ 【B】 男性で育児休業を取得する人は 「できない社員」だ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
【A】 男性で育児休業を取得する人は、 自分から積極的に取ったのだろう 【B】 男性で育児休業を取得する人は、 誰かに取らされているのだろう	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
【A】 男性が育児休業を取得すると、 上司がよい顔をしないと思う 【B】 男性が育児休業を取得すると、 上司から好意的に受け止められると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

<ここからはあなたのご家庭の子育て状況についておたずねします。>

Q8 お仕事をしている平日における以下の家事・育児について、ご夫婦で一緒にすべきと感じているものがあればお答えください。また、実際に一緒にしているものをお答えください。

(回答はいくつでも)

※一緒にする場合は、あなたもある程度主体的に行うイメージでお答えください。

	洗濯	食事の支度	食事の片付け	掃除	子どもを風呂に入れる	子どもの食事の世話	子どもを寝かしつける	子どもを着替えさせる	保育園等の送り	保育園等の迎え	あてはまるものはない
一緒にしたほうがよいと思う家事・育児	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
実際に一緒にしている家事・育児	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Q9 あなたは、現在、**平日の家事・育児**をそれぞれどの程度していると思いますか。

(回答は1つ)

	十分にしている と思う	少しはしている と思う	あまりしていない と思う	全くしていない と思う
家事	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
育児	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q10 あなたが、平日の家事・育児を今まで以上にするために何が必要だと思いますか。
 あてはまるものをすべてお答えいただいた上で、最も当てはまるものを1つだけお答え下さい。

	配偶者からの積極的な働きかけ	自分が利用できる仕事と子育ての両立支援制度等	職場での男性が家事・育児を担うことに対する理解	上司の理解	残業が少なくなる	休暇が取りやすくなる	休日出勤が減ること	フレックスタイム制度や在宅勤務制度など柔軟に働ける環境の整備	職場の人員配置に余裕ができる	取引先からの突発的な対応等が減ること	昇進・昇級への悪影響を気にせずに済む	職場に家事・育児に積極的なモデルとなる男性の存在	家事・育児のスキルの向上	配偶者が仕事を持つなど、家事・育児に取り組む必要性が生じること	配偶者とのコミュニケーションの向上	時間当たりの賃金の改善(アップ)	男性が家事・育児を担うことへの地域や社会全体の理解	夫が家事・育児を担うことへの配偶者や親族の理解	自分の仕事外の時間の使い方の優先順位を変える	その他
あてはまるものすべて (回答はいくつでも)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
最もあてはまるもの一つだけ (回答は1つ)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q11 あなたは小さい頃(概ね小学生の頃)、仕事や家事、育児に関するご両親の意識についてどのように感じていましたか。以下、「A、B」のうち、あなたの感じ方に近いと思うものをお答えください。

(回答は1つ)

※小さい頃に父親、母親のいずれか、またはご両親が既に亡くなられていた場合は、あなたにとって、父親的存在、母親的存在の方を想定してお答えください。

父親的存在、母親的存在の方もいらっしゃらない場合は、あなたの父親、母親のイメージで近いと思うものをお答えください。

	【A】に近い	どちらかという と【A】に近い	どちらかという と【B】に近い	【B】に近い
母親の意識				
【A】 「結婚・出産しても女性は仕事を続けるべきだ」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
【B】 「結婚したら女性は家事・育児に専念すべきだ」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
【A】 「男性も家事・育児に積極的に参加すべきだ」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
【B】 「男性は仕事に専念し、家事・育児は妻に任せるべきだ」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
父親の意識				
【A】 「結婚・出産しても女性は仕事を続けるべきだ」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
【B】 「結婚したら女性は家事・育児に専念すべきだ」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
【A】 「男性も家事・育児に積極的に参加すべきだ」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
【B】 「男性は仕事に専念し、家事・育児は妻に任せるべきだ」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
両親の意識				
【A】 「(子どもだった私は)家庭の手伝いをすべきだ」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
【B】 「(子どもだった私が)家庭の手伝いをする必要はない」	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q12 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけ選んでください。

(回答は1つ)

0 とても 不幸	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10 とても 幸せ
----------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-----------------

Q13 あなたは、現在、以下のことについて、それぞれ満足度はどの程度ですか。

(回答は1つ)

	とても満足している	満足している	どちらともいえない	満足していない	全く満足していない
「労働時間」に対して	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
「仕事に割く時間と生活に割く時間」のバランスに対して	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
「生活全般」(仕事・家庭・地域・個人生活)について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
「家庭生活」について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q14 現在の時間当たり賃金のもとで、あなたが自由に労働時間を選べるとしたら、あなたは以下の時間を現在より増やしますか、減らしますか。

(回答は1つ)

	増やす	変えない	減らす	わからない
労働時間	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
家事時間	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
育児時間	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q15 あなた自身の、「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活(地域活動・学習・趣味・付き合い等)の優先」についてどう感じていますか。希望に最も近いもの、実際(現実)に最も近いものについて、それぞれ1つずつお答えください。

(回答は1つ)

	仕事優先	家庭生活優先	地域・個人の生活を優先	仕事と家庭生活をともに優先	仕事と地域・個人の生活をともに優先	家庭生活と個人の生活をともに優先	仕事と家庭生活と地域・個人生活をともに優先	わからない
希望に近いもの	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
現実に近いもの	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

2 企業調査

企業のワーク・ライフ・バランスに関する調査



統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。



内閣府 男女共同参画局
仕事と生活の調和推進室

拝啓 時下益々御清栄のこととお慶び申し上げます。

働き方の見直しに取り組むことは、生産性の向上、優秀な人材の確保、社員のモチベーションアップなど様々な課題に有効であると言われてはいますが、具体的な取組や進捗にはばらつきが見られています。

今年2013年は「仕事と生活の調和推進のための行動指針」の達成状況が、社会全体でどのようになっているのか改めて確認をする中間年となっております。本調査では改めて現在の状況と課題について様々な角度から検討し、今後の検討に資することを目的としています。

調査結果は上記目的以外に利用されることはありません。また、個別の回答内容等を公表することはいたしませんので、ありのままに御回答くださいますようお願い申し上げます。

なお、本調査の結果については、後日内閣府ホームページに掲載する予定です。

御多忙のところ誠に恐縮に存じますが、本調査の趣旨に御理解を賜り、何とぞ御協力くださいますようお願い申し上げます。

敬具

御記入にあたって

1. 人事担当部署において、貴社の**働き方に関する各種制度についてよく御存じの方が**回答してください。
2. 回答方法は、該当する番号に 印をつけていただくもの、内に該当する数字を御記入いただくものがあります。設問の指示に従って回答してください。
3. 「その他」を選んだ場合、() に具体的な内容を記入してください。
4. **御記入が終わりましたら、返送用封筒（切手不要）に入れて 月 日()までに御投函ください。**
5. 本調査は、株式会社インテージリサーチに委託しています。調査に関して御不明の点がございましたら、下記の担当者までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

〒203-8686 東京都東久留米市本町1-4-1
株式会社 インテージリサーチ

【委託元】内閣府 男女共同参画局

最初に、貴社の属性についてお伺いします

問1 貴社の主たる業種をお答えください。（もっともあてはまるもの1つに ）

- | | |
|-----------|-------------------|
| 1. 建設業 | 7. 不動産業 |
| 2. 製造業 | 8. 運輸業 |
| 3. 卸売業 | 9. 通信業 |
| 4. 小売業 | 10. 電気・ガス・水道・熱供給業 |
| 5. 飲食業 | 11. サービス業 |
| 6. 金融・保険業 | 12. その他(具体的に:) |

問2 貴社全体（本社、支社、工場、営業所等を含めた全体）の役員数、正社員数をお答え下さい。また、そのうちの女性人数をお答え下さい。

役職	全体人数	うち女性人数
役員（除く執行役員）	人 (うち社外取締役 人)	人 (うち社外取締役 人)
管理職（正社員）	人	人
一般職（正社員）	人	人

問3 貴社には「ワーク・ライフ・バランス推進」「ダイバーシティ」「女性活用」などを担当する部署や社員がいますか。また社内のどの組織に位置づけられていますか。（1つだけ）

1. 独立した専任組織がある
2. 専任組織があるが、人事系の部署の一部である
3. 専任組織があるが、経営企画系の部署の一部である
4. 専任組織があるが、CSR担当部署の一部である
5. 人事系部署の担当者が兼務で取り組んでいる
6. 経営企画系の部署の担当者が兼務で取り組んでいる
7. CSRの一部として担当者が兼務で取り組んでいる
8. 現場社員を集めた推進プロジェクトを組織して取り組んでいる
9. その他（具体的に:)
10. 担当は置いていない

本調査における用語の説明

ワーク・ライフ・バランス: 「仕事と生活の調和」のこと。「仕事と生活の調和」が実現した社会では、『国民一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる』とされています。

ダイバーシティ: 「多様性」のこと。性別や国籍、年齢などの関わりなく、多様な個性が力を発揮し、共存できる社会のことを「ダイバーシティ社会」という。

CSR（企業の社会的責任）: 企業活動において、社会的公正や環境などへの配慮を組み込み、従業員、投資家、地域社会などの利害関係者に対して責任ある行動をとるとともに、説明責任を果たしていくことを求める考え方のこと。

問4 貴社で現在導入されている働き方に関する制度をお答えください（一部社員への適用も含む）
（あてはまるもの全てに ）

1. 勤務時間の融通がある程度効く
（フレックスタイム制度、裁量労働制・みなし労働時間など）
2. 時間の融通は利かないが、所定勤務時間が変わる（シフト制など）
3. 時間の融通が利かず、所定勤務時間も毎日一定である

本調査における用語の説明

フレックスタイム制：就業規則等により制度の導入を定めた上で、労使協定により、一定期間（1ヶ月以内）を平均し1週間当たりの労働時間が法定の労働時間を超えない範囲内において、その期間における総労働時間を定めた場合に、その範囲内で始業・終業時刻・労働者がそれぞれ自主的に決定することができる制度

みなし労働時間制：「事業場外みなし労働時間制」、「専門業務型裁量労働制」、「企画業務型裁量労働制」があります。

- ・事業場外みなし労働時間制：事業場外で労働する場合で労働時間の算定が困難な場合に、原則として所定労働時間働いたものとみなす制度
- ・専門業務型裁量労働制：デザイナーやシステムエンジニアなど、業務遂行の手段や時間配分などに関して使用者が具体的な指示をしない19の業務について、実際の労働時間数とはかかわりなく、労使協定で定めた労働時間数を働いたものとみなす制度
- ・企画業務型裁量労働制：事業運営の企画、立案、調査及び分析の業務であって、業務遂行の手段や時間配分などに関して使用者が具体的な指示をしないものについて、実際の労働時間数とはかかわりなく、労使委員会で定めた労働時間数を働いたものとみなす制度

ここからは、貴社の残業削減や有給休暇取得に関する取組についてお伺いします

< 残業削減について >

問5 貴社の正社員において、平成25年6月または把握している直近の1ヶ月あたりの平均的な残業時間は何時間ですか。次のうち最も近いものをお選び下さい。（1つ）

- | | |
|------------|------------|
| 1. 0時間 | 6. 40～49時間 |
| 2. 1～9時間 | 7. 50～59時間 |
| 3. 10～19時間 | 8. 60～69時間 |
| 4. 20～29時間 | 9. 70～79時間 |
| 5. 30～39時間 | 10. 80時間以上 |

問6 貴社の正社員のうち、平成25年6月または把握している直近の1ヶ月あたりの残業時間が60時間以上に達している従業員の割合はどのくらいですか。最近1年間の状況から平均的な発生率として、最も近いものをお選び下さい。（1つ）

- | | | |
|------------|--------|-------------|
| { 1. 0% } | → 問10へ | 5. 10～12%未満 |
| 2. 1～5%未満 | | 6. 12～15%未満 |
| 3. 5～7%未満 | | 7. 15～20%未満 |
| 4. 7～10%未満 | | 8. 20%以上 |

問7 先ほど、**問6で「2～8」をお選びになった方にお伺いします。**

長時間労働の発生状況は、以下のどれに近いですか。近いものを1つお答え下さい。(1つ)

1. 管理職（部長職）で特に多い
2. 管理職（課長職）で特に多い
3. その他管理職で特に多い
4. 一般職で特に多い
5. 役職に関わらず、特定の部署で多い
6. 役職、部署に関わらず全般的に多い

管理職の方については、「残業時間」という概念は該当しませんが、実態から御判断いただき、御回答ください。

問8 以下は、残業を削減するための取組例です。以下のうち(1)貴社で導入されている取組と、(2)貴社の残業を削減するのに効果的だと思われる取組をお答え下さい。

なお、「効果的だと思われる取組」については、現在貴社で導入されていないものについても、導入されたら効果が出ると考えられる場合には「 」を御記入下さい。

(それぞれあてはまるもの全てに)	(1)導入されている取組	(2)効果的だと思われる取組
計画的な残業禁止日の設定	1	1
入退時間のシステム管理 (入退時間と申請の不一致等に関する警告等)	2	2
部下の長時間労働の状況を上司の評価に反映	3	3
長時間労働ではなく、時間効率を意識させる仕組みの導入	4	4
長時間労働者に対する産業医との面談	5	5
身近な上司(課長、部長等)からの声かけ	6	6
業務時間外会議の禁止	7	7
会議の時間や回数制限(1時間を上限とするなど)	8	8
取引先との余裕をもったコミュニケーション	9	9
残業の事前承認	10	10
オフィスの強制消灯	11	11
担当がいなくとも、他の人が仕事を代替できる体制づくり	12	12
その他 (具体的に：)	13	13
取組は行っていない/特にない	14	14

<有給休暇取得促進について>

問9 貴社の直近の事業年度（または把握できる直近の1年間）における年次有給休暇の状況についてお答え下さい。なお、企業全体についての回答が困難な場合には、常用労働者数の最も多い事業所についてお答えください。

1. 年間延べ付与日数 （繰越日数を除く）	日
2. 年間延べ取得（消化）日数（ ）	日

時間単位で取得した分は、足し上げて日数に換算し、端数は四捨五入して下さい。

次のページに続きます

問10 以下は、有給休暇の取得を促進するための取組例です。以下のうち(1)貴社で導入されている取組と、(2)効果的だと思われる取組をお答え下さい。

なお、「効果的だと思われる取組」については、現在貴社で導入されていないものについても、導入されたら効果が出ると考えられる場合には「 」を御記入下さい。

(それぞれあてはまるもの全てに)	(1)導入されている取組	(2)効果的だと思われる取組
積極的に休暇を取得させる仕組みづくり (有給休暇残数の通知、まとまった休暇取得奨励を含む)	1	1
有給休暇の取得に関する経営者による意思決定	2	2
身近な上司(課長、部長等)による有給休暇の取得奨励	3	3
身近な上司(課長、部長等)の積極的な有給休暇の取得	4	4
部下の有給休暇取得率を管理職の評価に反映	5	5
仕事の標準化(他のメンバーで仕事を代替できる)	6	6
時間単位、半日単位など柔軟な有給休暇取得制度	7	7
代休分を残業代として支払う(代休優先取得の廃止)	8	8
職場の計画的な休暇取得(一斉や交代)	9	9
その他 (具体的に:)	10	10
取組は行っていない/特になし	11	11

問11 貴社では管理職が仕事や部下の管理運営などの役割を全うする時間を確保できるよう、何か取組を行っていますか。あてはまるものを全てお答え下さい。(複数回答)

1. 管理職自身の負担軽減 (役割分担や、チームリーダーの設置/能力開発など)
2. 管理職の意識改善 (マネジメント研修等の実施)
3. 効率性を高めるためのノウハウの共有 (管理職や部署間でのノウハウの共有)
4. 管理職の部下に対する権限移譲の推進
5. その他(具体的に:)
6. 特に取組は行っていない

ここからは、貴社の「社員の自己啓発への取組」についてお伺いします

問 1 2 貴社では、社員の自己啓発（ ）の促進に向けてどのようなことをしていますか。
 あてはまるものを全てお答え下さい。（あてはまるもの全てに ）

1. 新しい能力の獲得を目的にチャレンジ度の高い仕事を与えている
2. 就業時間内の研修・プログラムを提供している
3. 就業時間外の研修・プログラムを提供している
4. 外部で提供されているもの（本・教材、講習等）を紹介している
5. 人事評価を通じ、社員の自主的な取組を促している
6. 特に何もしていない

本調査における「自己啓発」とは、従業員が職業生活を継続するために行う、職業に関する能力を自発的に開発し、向上させるための活動をいいます。（職業に関係ない趣味、娯楽、スポーツ健康増進等のためのものは含みません。）

問 1 3 以下は、自己啓発の促進ための取組の例です。以下のうち（ 1 ）貴社で導入されている取組と、（ 2 ）効果的だと思われる取組をお答え下さい。

なお、「効果的だと思われる取組」については、現在貴社で導入されていないものについても、導入されたら効果が出ると考えられる場合には「 」を御記入下さい。

（それぞれあてはまるもの全てに ）	(1)導入されている 取組	(2)効果的だと思 われる取組
自己啓発の目標設定、実施結果の評価への反映	1	1
職業能力評価制度の導入	2	2
自身の自己啓発実施状況と上司の評価を連動させる	3	3
社内での自主的な勉強会に対する援助 （就業時間内で実施して良い等）	4	4
会社による研修・プログラムの提供	5	5
必要なスキル等についての相談体制の整備	6	6
社外の研修・プログラムの紹介	7	7
自己啓発に対する費用支援	8	8
仕事を早く終え、自己啓発に取組める雰囲気づくり	9	9
その他（具体的に： ）	10	10
取組は行っていない / 特にない	11	11

働き方見直し全般に関し、以下の質問にお答え下さい

問14 貴社では、働き方の見直しを進めることによるメリットをどのように考えていらっしゃいますか。あてはまるものを全てお答え下さい。

本調査における「働き方の見直し」とは、従業員自身や職場として、より効率的な、または生産性の高い、というような仕事のやり方を目指すもので、結果としては職場全体で、より短時間で同じ成果を出せる、または同じ時間でより高い成果を出せる、などの効果を期待するものをいいます。

	見直しを進める メリット (あてはまるもの 全てに)	もっとも 大きなメリット (1つだけ)
多様な人材を確保につながる	1	1
従業員の満足度が上がる	2	2
従業員が生活者の視点や社外の多様な価値観を獲得できる	3	3
コスト削減につながる	4	4
個人と組織の生産性が向上する	5	5
企業イメージや評価の向上につながる	6	6
従業員の心身健康をに起因するリスクを減らせる	7	7
女性の能力活用につながる	8	8
その他 (具体的に：)	9	9
メリットと感じていることはひとつもない	10	10

次のページに続きます

問15 働き方の見直しを進める上での、貴社の課題をお答えください。

また、もっとも大きな課題もあわせてお答えください。

本調査における「働き方の見直し」とは、従業員自身や職場として、より効率的な、または生産性の高い、というような仕事のやり方を目指すもので、結果としては職場全体で、より短時間で同じ成果を出せる、または同じ時間でより高い成果を出せる、などの効果を期待するものをいいます。

	見直しを進める 上での課題 (あてはまるもの 全てに)	もっとも 大きな課題 (1つだけ)
経営トップの強いコミットメントが不足している	1	1
管理職からの理解を得られない	2	2
業務量に対する要員が不足している	3	3
取引先の理解を得られない	4	4
会社内のインフラ整備や制度導入にコストがかかる	5	5
勤務管理の複雑化など運用に負荷がかかる	6	6
就業規則や労使協定の変更等の手続きに負荷がかかる	7	7
働き方の見直しに関する取組方法、ノウハウが不足している	8	8
社会サービス(土日や夜間の保育等)が不足している	9	9
個人的な事情を顧みず働き続ける人が評価される風潮がある	10	10
職場により働き方の見直しを進めにくい雰囲気がある	11	11
個人的な事情で休むと評価・昇進に影響するという風潮がある	12	12
その他(具体的に:)	13	13
特に課題はない	14	14

次のページに続きます

問16 貴社の人事評価において、以下の事項はどのように評価されていますか。それぞれについてお答えください。

	人事評価で プラスに 評価されている	人事評価では 考慮されていな い	人事評価で マイナスに 評価されている
残業や休日出勤をほとんどせず、時間内に仕事を終えて帰宅すること	1	2	3
自分に与えられた役割を果たし、付与された有給休暇のほとんどを消化すること	1	2	3
自己啓発に熱心に取り組み、その時間確保のために与えられた仕事を早く終わらせること	1	2	3

問17 問16でお答えいただいた、「評価のあり方」の周知について伺います。貴社では、以下に記載する「評価のあり方」について、どの程度周知していますか。最も近いものをお答えください。

1. 人事評価を行う管理職に周知している
2. 人事評価に携わる者に周知している（管理・一般を問わず）
3. 正社員全員に周知している
4. 特に周知していない

問18 問17でお答えいただいた社員への周知について、貴社で実施している手法をお答えください。
また、もっとも重視している手法についてお答えください。

	貴社で実施しているもの (あてはまるもの全て)	最も重視しているもの (ひとつだけ)
就業規則等、全社員が閲覧する文書に明記	1	1
評価基準を明記した書面を、人事評価を行う者に配布	2	2
評価基準を明記した書面を、人事評価を受ける者に配布	3	3
個別面談等で人事評価を行う者に説明 (年に1回以上実施)	4	4
個別面談等で人事評価を受ける者に説明 (年に1回以上実施)	5	5
人事評価を行う者に対し、説明会等を実施 (年に1回以上実施)	6	6
人事評価を受ける者に対し、説明会等を実施 (年に1回以上実施)	7	7
その他 (具体的に:)	8	8

問19 最後に、貴社のお仕事や職場の現状をお知らせ下さい。

以下のうちあてはまるものをお答え下さい。なお、事業所が複数あり、特徴として答えづらい場合には、答えやすい1つの事業所についてお答え下さい。(あてはまるもの全てに)

1. 仕事の量が多い
2. 締切や納期にゆとりがないことが多い
3. 仕事の手順を担当が自分で決めることができる
4. 担当業務の内容は明確化されている
5. 仕事を進める上で非公式な調整に時間がかかる
6. 突発的な業務が生じることが頻繁にある
7. 一部の人に仕事が偏ることがある(一部の人が残業状態にある)
8. 急な仕事に対応できる人が高く評価される
9. 残業や休日出勤に応じる人が高く評価される
10. 上司は、部下の育成に熱心である
11. 上司と部下のコミュニケーションはよくとれている
12. 効率よく仕事を進められる人は他の人の仕事も任せやすい
13. 仕事が終われば周りの人が残っていても退社できる雰囲気である
14. 職場には、同僚同士で仕事のノウハウを教えあう風土がある
15. 職場の規模が大きく、部署間の意思疎通が難しい
16. 男女を問わず、仕事の割振りや評価は公平に行われている

＊＊ 以上で、質問は終わりです。御協力ありがとうございました。＊＊

御記入いただきました調査票は、返送用封筒(切手不要)に入れて__月__日()までに御投函くださいますようお願いいたします。

御回答いただきました内容につきまして、後日、お問い合わせをさせていただく場合があります。御面倒でも、以下の欄に御連絡先を御記入下さいますよう、お願いいたします。

所属部署		御回答者名	
電話番号		E-Mail	